

東京工業大学談話会（11月26日）の内容

（講演題目：偏微分方程式の解の一意接続性について）

講演者 増田 久弥
（明治大学）

関数論における一致の定理を 2 階楕円型方程式に拡張した結果として Aronszajn と Cordes の有名な定理がある。

この定理の応用として、波動方程式、シュレディンガー方程式、拡散方程式に対する一致の定理に関する講演者が得た結果を報告する。

他方講演者が得た発展方程式の解の時間漸近挙動に関する結果を上いくつかの方程式に対する一致の定理と結ぶことによって、さまざまな挙動の様子が変わることを述べる。

最後に、拡散方程式に対する一致の定理を以前得た結果とは別の方法で新しい結果を得たので、これも報告する予定である。